

**対馬暖流の流量は例年よりやや少なめで、
岩内以南では岸寄り、石狩以北では沖を通過する流路となっています。
表層水温は、奥尻島の西側でやや低めですが、
それ以外はほぼ全域で平年並みとなっています。**

2019年4月に実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。

津軽海峡～石狩沖での対馬暖流の北上流量は0.7Sv (1Sv=10⁶m³/s) 程度と例年よりやや少なめです (図1c)。流路は津軽海峡から岩内沖では岸寄りですが、石狩以北では沖よりの流路となっています。

表層水温は、奥尻島の西側で平年よりも1～2℃低い海域がありますが、それ以外はほぼ全域で平年並みです (図1a、b)。余市前浜水温は、4月上旬までは平年より「やや低い」水温でしたが、気温の上昇と晴天が続いたため、4月中旬以降に急上昇して「かなり高い」水温となりました。

暖流の流量は少なめですが、今後も気温はやや高めで推移する予報 (※) となっているため、沿岸水温も高めで推移する可能性があります。気温の変化にご注意ください。

※気象庁HPより1ヶ月予報：<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>

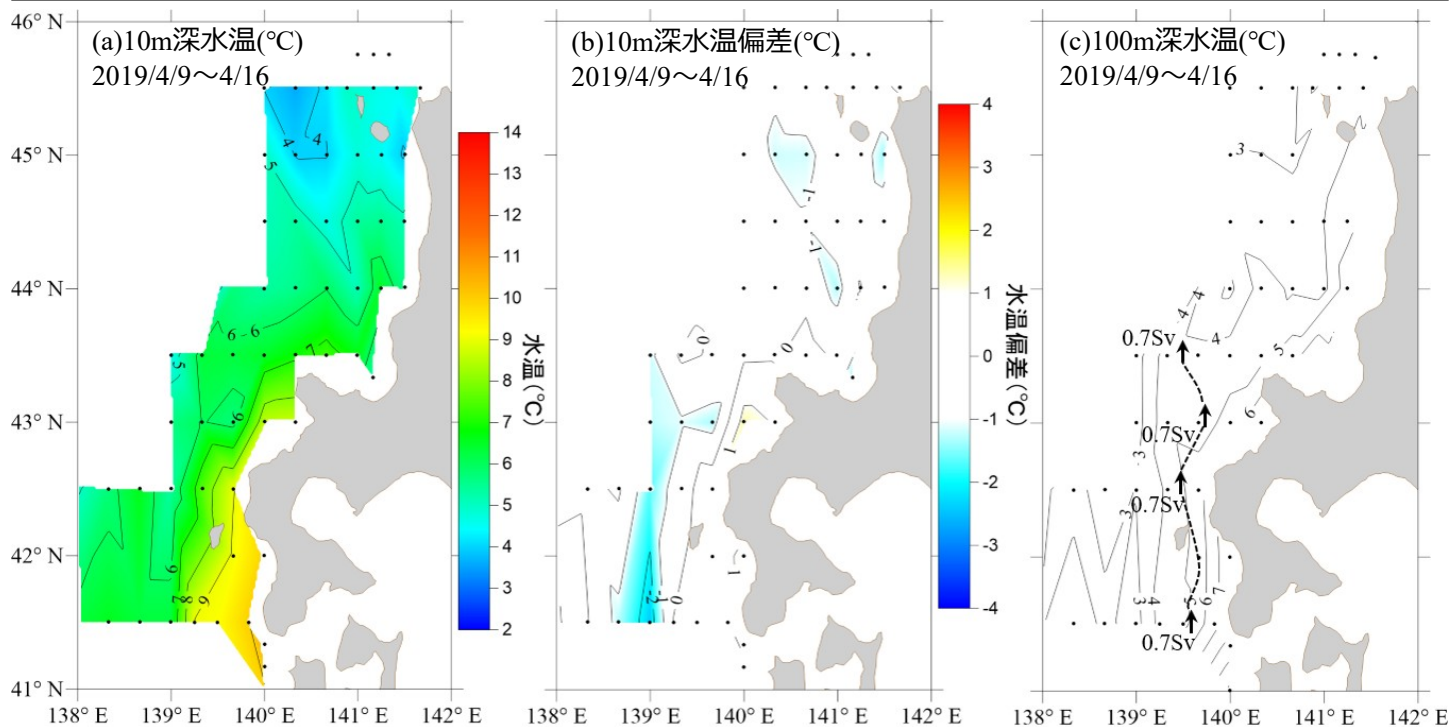


図1 2019年4月における (a) 10m層水温、(b) 10m層水温偏差 (30年平均値 (1989～2018年) からの差) の分布、(c) 100m層水温分布と対馬暖流の流路 (500db基準の地衡流より) (1Sv=10⁶m³/s)

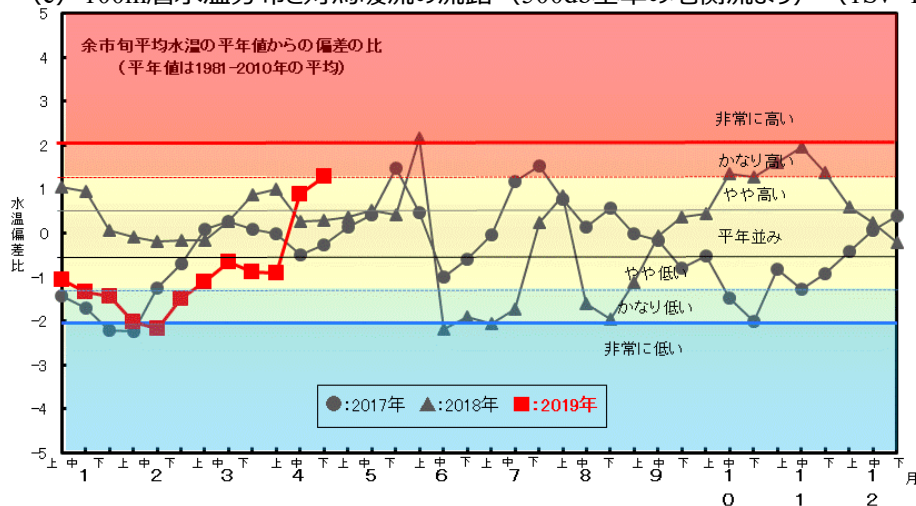


図2 余市前浜旬別水温の平年偏差比

最新版は
<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyousuion/index.html>
もしくは「余市前浜水温」で検索